

平成30年11月 7日

各 位

会社名 株式会社ソフトフロントホールディングス
代表者名 代表取締役社長 平野井 順一
(JASDAQ・コード 2321)
問合せ先 執行役員 IR・法務担当 五十嵐 達哉
電話 03-6550-9270

子会社（株式会社エコノミカル）の株式の譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ

当社は、本日の当社取締役会において、当社が保有する子会社株式会社エコノミカル（以下、「エコノミカル社」といいます。）の全ての株式を株式会社フォーカス（代表取締役 江村 真人、住所：東京都港区虎ノ門一丁目12番15号。以下、「フォーカス社」といいます。）に譲渡すること（以下、「本件株式譲渡」といいます。）を決議し、これに伴い、平成31年3月期第3四半期連結会計期間において、特別利益を計上する見込みとなりましたので、これらについて、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 株式譲渡の理由

当社は、平成31年3月期末での債務超過解消及び早期の営業収支黒字化に向けて、大幅な構造改革を進めており、平成30年9月5日付「子会社（株式会社ソフトフロントDevelopment Service）の株式の譲渡に関するお知らせ」及び平成30年10月11日付「希望退職者の募集に関するお知らせ」で公表した施策を進めると共に、体制変更を含め、様々な経営の合理化を進めております。

そのような状況の中、格安SIMサービス「ロケットモバイル」や光コラボレーション「まとめて光」サービスなどを手掛けているエコノミカル社は、法人のIoT需要の顕在化もあって、順調に契約回線数を伸ばしてきておりますが、依然赤字が継続しており、事業規模も小さい状況にあります。今後、エコノミカル社の事業規模を大きく成長させていくためには、一定の投資が必要と判断しておりますが、当社は現在、AIを活用した新たなボイスコンピューティング事業に力を入れており、エコノミカル社への大きな投資は難しい状況にあります。

この状況に鑑み、本件株式譲渡により、事業の選択と集中を更に進めることが有効であり、当社グループの企業価値向上のために得策であると判断するに至りました。その後、エコノミカル社を有効に活用していただける候補複数社と調整・交渉を進め、譲渡条件を検討した結果、フォーカス社への譲渡を決定しております。なお、譲渡代金については、エコノミカル社の直近の業績の状況を踏まえ、フォーカス社との調整・交渉により、総額13百万円を設定しております。また、本件株式譲渡の実行日において、当社からのエコノミカル社に対する運転資金の貸付金42,900千円が全額返済される予定であり、株式の譲渡代金と貸付金の返済金については、当社グループのコア事業となるAIを活用したボイスコンピューティング事業等の成長分野に有効に活用し、当社グループの成長につなげてまいります。

本件株式譲渡により、エコノミカル社は当社の子会社ではなくなり、当社グループから外れることとなりますが、フォーカス社との協議により、当社グループ会社とエコノミカル社が築いてきたIoT関連分野等での販売の協力関係は継続することを確認しております。

2. 異動する子会社の概要

①	名 称	株式会社エコノミカル		
②	所 在 地	東京都千代田区永田町二丁目17番3号		
③	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 金野 太一		
④	事 業 内 容	電気通信事業		
⑤	資 本 金	73百万円		
⑥	設 立 年 月 日	平成27年12月17日		
⑦	大株主及び持株比率	当社（株式会社ソフトフロントホールディングス） 42.43%		
⑧	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当該会社は当社の連結子会社であります。	
		人 的 関 係	当該会社の金野太一代表取締役社長は、当社連結子会社である株式会社AWESOME JAPAN及び株式会社ソフトフロントマーケティングの代表取締役社長を兼任しております。	
		取 引 関 係	当社と当該会社との間には、持株会社である当社が当該会社に対して、運転資金貸付、シェアードサービス・経営指導等の提供等のグループ内の取引関係があります。	
⑨	当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	平成28年11月期 (注) 1	平成29年3月期 (注) 2	平成30年3月期
	純 資 産	13 百万円	△ 9 百万円	△34 百万円
	総 資 産	26 百万円	44 百万円	27 百万円
	1 株 当 たり 純 資 産	8,008 円	△5,421 円	△19,748 円
	売 上 高	11 百万円	13 百万円	57 百万円
	営 業 損 益	△70 百万円	△17 百万円	△23 百万円
	経 常 損 益	△70 百万円	△17 百万円	△24 百万円
	当 期 純 損 益	△70 百万円	△23 百万円	△24 百万円
	1 株 当 たり 当 期 純 損 益	△40,687 円	△13,429 円	△14,327 円
	1 株 当 たり 配 当 金	—	—	—

(注) 1. 平成28年11月期の会計期間は平成27年12月17日から平成28年11月30日までであります。

2. 平成29年3月期の会計期間は平成28年12月1日から平成29年3月31日までであります。

3. 株式譲渡の相手先の概要

①	名 称	株式会社フォーカス		
②	所 在 地	東京都港区虎ノ門一丁目12番15号		
③	代表者の役職・氏名	代表取締役 江村 真人		
④	事 業 内 容	プライベート・エクイティ投資、不動産投資、不動産仲介、エネルギー事業、再生支援コンサルティング		
⑤	資 本 金	1億円		
⑥	設 立 年 月 日	平成21年2月2日		
⑦	純 資 産	1,465百万円（平成29年12月31日現在）		
⑧	総 資 産	7,350百万円（平成29年12月31日現在）		
⑨	大株主及び持株比率	(注)		
⑩	上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
		人 的 関 係	該当事項はありません。	
		取 引 関 係	該当事項はありません。	
		関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。	

(注) 該当事項の情報提供を依頼しましたが、当該会社は外部に情報を開示しておらず、情報提供していただけなかったため、記載しておりません。

4. 譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式の状況

① 異動前の所有株式数	732株 (議決権の数：732個) (議決権所有割合：42.43%)
② 譲渡株式数	732株 (議決権の数：732個)
③ 譲渡価額	13百万円（1株あたり17,759.56円）
④ 異動後の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権所有割合：0%)

5. 日程

① 当社取締役会決議日	平成30年11月7日
② 株式譲渡契約締結日	平成30年11月7日
③ 株式譲渡実行日	平成30年11月21日（予定）

6. 特別利益の計上とその内容

本件株式譲渡に伴い、平成31年3月期第3四半期連結会計期間において、特別利益として子会社株式売却益29百万円を計上する見込みであります。

7. 今後の見通し

本件株式譲渡に伴い、連結子会社が当社連結財務諸表から除外されることとなり、また、上記のとおり平成31年3月期第3四半期連結会計期間において、特別利益を計上する見込みであります。

以上